呉工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	建築設計製図Ⅴ

科目基礎情報

科目番号	0296	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	4
教科書/教材	日本建築学会編『第３版コンパクト建築設計資料修正』（丸善）		
担当教員	下倉 玲子		

到達目標

建築分野の事例を通して、持続発展可能な社会を形成することを目指した建築設計のあり方を習得する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
図面と模型を作成することができる。	図面と模型を作成することが適切にできる。	図面と模型を作成することができる。	図面と模型を作成することができない。
作成した資料をもとにプレゼンテーションができる。	作成した資料をもとにプレゼンテーションが適切にできる。	作成した資料をもとにプレゼンテーションができる。	作成した資料をもとにプレゼンテーションができるない。
与えられた敷地、地区の問題を建築によって解決することができる。	与えられた敷地、地区の問題を建築によって解決することが適切にできる。	与えられた敷地、地区の問題を建築によって解決することができる。	与えられた敷地、地区の問題を建築によって解決することができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	本科目はこれまで学習してきな様々な専門知識や技術を活用し、建築設計を行う。具体的には「都市空間」といったフィールド（物理的環境）を通して建築的文脈を読み取り建築化していくことである。様々な条件から、建築空間を生成する糧を、より体系的にとらえ直し、その中でコンセプトメイキングと形態操作のフィードバックを繰り返すことで、建築設計をする手法を習得する。 本科目は，建築設計および製図について，実習形式で授業を行うものである．第7週前後，および第15週において，現在，建築設計実務に携わっている一級建築士が評価者として授業に参加し，実務の観点から学生らの作品を評価する。
授業の進め方・方法	大きく2つの課題が前半、後半と与えられ、設計与件と敷地・地区にある問題を整理し、エスキスやスタディ模型などを通して解決の糸口を探していく。最終的には、図面および模型の提出があり、発表会を開催する。事前・事後学習としての課題を実施する。
注意点	主体的に学習に取り組むことで発展性のある授業である。 成績評価の割合については，この科目シラバスの最下部にある「評価割合」の欄を参照すること。この欄にある「総合評価割合」の「合計」100%のうち60%以上達成すれば合格となる。 新型コロナウイルスの影響により，授業内容を一部変更する可能性があります。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	第一課題　「建築再生」に関する課題の説明	課題を理解し、何に取り組まなくてはならないか説明することができる。
		2週	資料収集と整理	設計に取り組むために有益な情報を探し、手元資料としてまとめることができる。
		3週	エスキス１	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		4週	エスキス２	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		5週	エスキス３	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		6週	図面作成	設計図をCADソフトを利用して表現することができる。
		7週	模型作成	設計図をもとに模型を作成し、効果的なプレゼンテーション資料とすることができる。
		8週	講評会	設計案を説明し、他者に良さを正確に伝えることができる。
	2ndQ	9週	第二課題　「デザコン」　課題説明	課題を理解し、何に取り組まなくてはならないか説明することができる。
		10週	エスキス１	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		11週	エスキス２	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		12週	エスキス３	コンセプトをもとに設計図をエスキスで表現することができる。
		13週	図面作成	設計図をCADソフトを利用して表現することができる。
		14週	模型作成	設計図をもとに模型を作成し、効果的なプレゼンテーション資料とすることができる。
		15週	講評会	設計案を説明し、他者に良さを正確に伝えることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0